

健康増進編

1 健康手帳の交付

市区町村における健康手帳交付数は942,877人で、男360,858人、女539,834人となっている(表1)。

表1 健康手帳の交付状況

(単位:人) 平成27(2015)年度

	総数	40~74歳	75歳以上
総数	942 877	774 380	142 253
男	360 858	301 283	57 162
女	539 834	457 080	79 507

注: 年齢階級別及び性別の計数が不詳の市区町村があるため、総数と年齢階級別及び性別の計が一致しない。

2 健康診査

市区町村が実施した健康診査の受診者数は116,141人で、男54,342人、女61,799人となっている(表2)。

検査結果の状況を見ると、「糖尿病個別健康教育対象者(ア)」37,046人、「高血圧症個別健康教育対象者(イ)」33,203人などとなっている(表3)。

表2 性・年齢階級別にみた健康診査における受診者の状況

(単位:人) 平成27(2015)年度

	受診者数	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
総数	116 141	13 592	16 706	12 294	19 019	18 476	36 054
男	54 342	5 967	9 221	7 189	10 359	8 589	13 017
女	61 799	7 625	7 485	5 105	8 660	9 887	23 037

注: 1 老人保健法に基づき市区町村が実施していた基本健康診査は、平成20年度より高齢者の医療の確保に関する法律に基づき保険者が実施する特定健康診査と、健康増進法に基づき市区町村が実施する健康診査に分かれた。本報告では市区町村が実施した健康診査について計上している。
2 健康診査の受診者数は、「健康診査」、「訪問健康診査」及び「介護家族訪問健康診査」の受診者数の合計である。

表3 性別にみた健康診査における検査結果の状況

(単位:人) 平成27(2015)年度

	受診者数	検査結果								
		血圧		脂質異常		糖尿病		貧血 (疑いを含む。)	肝疾患 (疑いを含む。)	腎機能障害 (疑いを含む。)
		高血圧症 個別健康教育 対象者(ア)	高血圧症 個別健康教育 対象者(イ)	脂質異常症 個別健康教育 対象者(ア)	脂質異常症 個別健康教育 対象者(イ)	糖尿病 個別健康教育 対象者(ア)	糖尿病 個別健康教育 対象者(イ)			
総数	116 141	12 580	33 203	23 654	31 564	37 046	13 203	15 348	18 099	16 474
受診者数に 占める割合(%)	100.0	10.8	28.6	20.4	27.2	31.9	11.4	13.2	15.6	14.2
男	54 342	5 822	16 566	11 611	14 223	16 810	7 295	7 198	10 741	7 690
受診者数に 占める割合(%)	100.0	10.7	30.5	21.4	26.2	30.9	13.4	13.2	19.8	14.2
女	61 799	6 758	16 637	12 043	17 341	20 236	5 908	8 150	7 358	8 784
受診者数に 占める割合(%)	100.0	10.9	26.9	19.5	28.1	32.7	9.6	13.2	11.9	14.2

注: 「個別健康教育対象者(ア)」は、特定健康診査及び健康増進法に基づく健康診査受診者のうち、検査結果から生活習慣病の発症予防等のため指導が必要な者で、平成27年度中に教育を開始した者をいい、「個別健康教育対象者(イ)」は、特定健康診査及び健康増進法に基づく健康診査受診者のうち、検査結果から生活習慣病の重症化予防等のため個別健康教育による指導が有効であると医師が認めた者で平成27年度中に教育を開始した者をいう。

3 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診

市区町村が実施した歯周疾患検診の受診者数は 286,264 人、骨粗鬆症検診の受診者数は 304,535 人となっている。

受診者数に占める各指導区分の割合をみると、「要精検者」は歯周疾患検診では 80.7 %、骨粗鬆症検診 14.6 %となっている。(表 4)

市区町村における平成 27 年度の検診実施率は、歯周疾患検診 61.3 %、骨粗鬆症検診 61.9 %となっている(表 5)。

表 4 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施状況

(単位:人)

平成 27(2015)年度

		受診者数 ¹⁾	指導区分					
			要精検者	受診者数に占める割合(%)	要指導者	受診者数に占める割合(%)	異常認めず	受診者数に占める割合(%)
歯周疾患検診	総数	286 264	231 091	80.7	26 903	9.4	26 728	9.3
	40 歳	82 883	65 573	79.1	8 518	10.3	8 304	10.0
	50 歳	66 841	54 207	81.1	6 218	9.3	6 008	9.0
	60 歳	67 722	55 230	81.6	6 115	9.0	6 045	8.9
	70 歳	68 818	56 081	81.5	6 052	8.8	6 371	9.3
骨粗鬆症検診 ²⁾	総数	304 535	44 597	14.6	83 212	27.3	176 664	58.0
	40 歳	36 791	724	2.0	3 971	10.8	32 088	87.2
	45 歳	25 958	612	2.4	2 909	11.2	22 432	86.4
	50 歳	37 232	1 053	2.8	4 912	13.2	31 262	84.0
	55 歳	34 157	2 752	8.1	8 579	25.1	22 819	66.8
	60 歳	49 528	7 948	16.0	17 182	34.7	24 387	49.2
	65 歳	70 605	16 348	23.2	26 843	38.0	27 392	38.8
	70 歳	50 264	15 160	30.2	18 816	37.4	16 284	32.4

注: 1) 指導区分の計数が不詳の市区町村があるため、受診者数と指導区分の計が一致しない。

2) 「骨粗鬆症検診」の対象者は女性である。

表 5 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施市区町村数及び検診実施率の年次推移

	歯周疾患検診					骨粗鬆症検診 ²⁾				
	平成23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	平成23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	(2011)	('12)	('13)	('14)	('15)	(2011)	('12)	('13)	('14)	('15)
実施市区町村数	959	981	1 018	1 049	1 064	1 062	1 063	1 068	1 084	1 076
検診実施率(%) ¹⁾	55.2	56.4	58.6	60.4	61.3	61.1	61.2	61.4	62.4	61.9
全国市区町村数	1 738	1 738	1 738	1 737	1 737	1 738	1 738	1 738	1 737	1 737

注: 1) 検診実施率 = (実施市区町村数 / 全国市区町村数) × 100

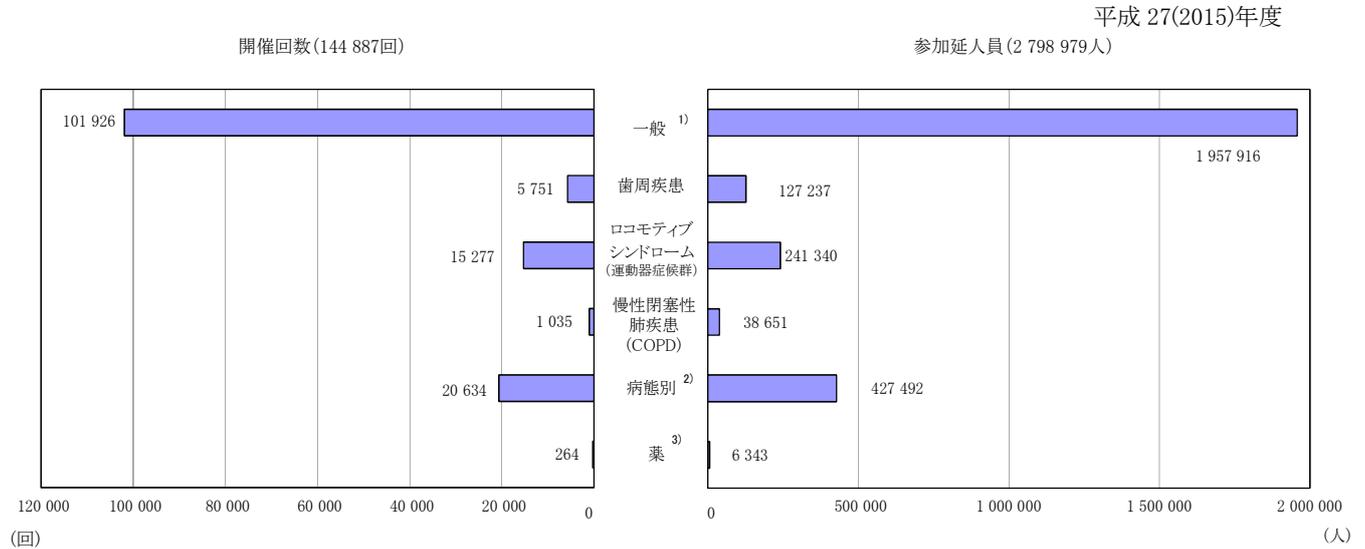
2) 「骨粗鬆症検診」の対象者は女性である。

4 健康教育

市区町村が実施した集団健康教育の開催回数は144,887回、参加延人員は2,798,979人となっている。

内容別にみると、開催回数、参加延人員ともに、「一般」が最も多くなっている。(図1)

図1 集団健康教育の実施状況



- 注：1) 「一般」とは、生活習慣病の予防のための日常生活上の心得、健康増進の方法、食生活の在り方等健康に必要な事項の教育をいう。
 2) 「病態別」とは、肥満、高血圧、心臓病等と個人の生活習慣との関係及び健康的な生活習慣の形成についての教育をいう。
 3) 「薬」とは、薬の保管、適正な服用方法等に関する留意事項、薬の作用・副作用の発現に関する知識の教育をいう。

5 健康相談

平成 27 年度に市区町村が実施した健康相談の被指導延人員は 1,336,561 人であり、そのうち重点健康相談は 506,695 人となっている。

重点健康相談を内容別にみると、「病態別」が 171,456 人と最も多くなっている。(表6)

表6 健康相談の年次推移

(単位:人)

		被指導延人員				
		平成23年度 (2011)	24年度 ('12)	25年度 ('13)	26年度 ('14)	27年度 ('15)
総	数	1 540 898	1 443 985	1 431 696	1 390 990	1 336 561
重点 健康 相談	総	548 046	532 783	506 553	504 815	506 695
	高	100 251	84 289	83 169	80 841	75 192
	脂	24 386	24 756	25 832	24 897	25 287
	糖	34 451	36 412	33 300	28 549	29 437
	歯	81 681	85 505	82 011	80 584	83 311
	骨	108 438	104 947	99 324	100 515	102 284
	女	24 515	19 999	16 803	18 394	19 728
	病	174 324	176 875	166 114	171 035	171 456
総	合	992 852	911 202	925 143	886 175	829 866

注：1) 「病態別」とは、重点健康相談の「高血圧」から「女性の健康」を除く、肥満、心臓病等の病態別に、個人の食生活その他の生活習慣を勘案して行う相談指導等をいう。

6 機能訓練

平成 27 年度に市区町村が実施した機能訓練の実施状況は、実施施設数 258 か所、被指導延人員 37,148 人となっている（表 7）。

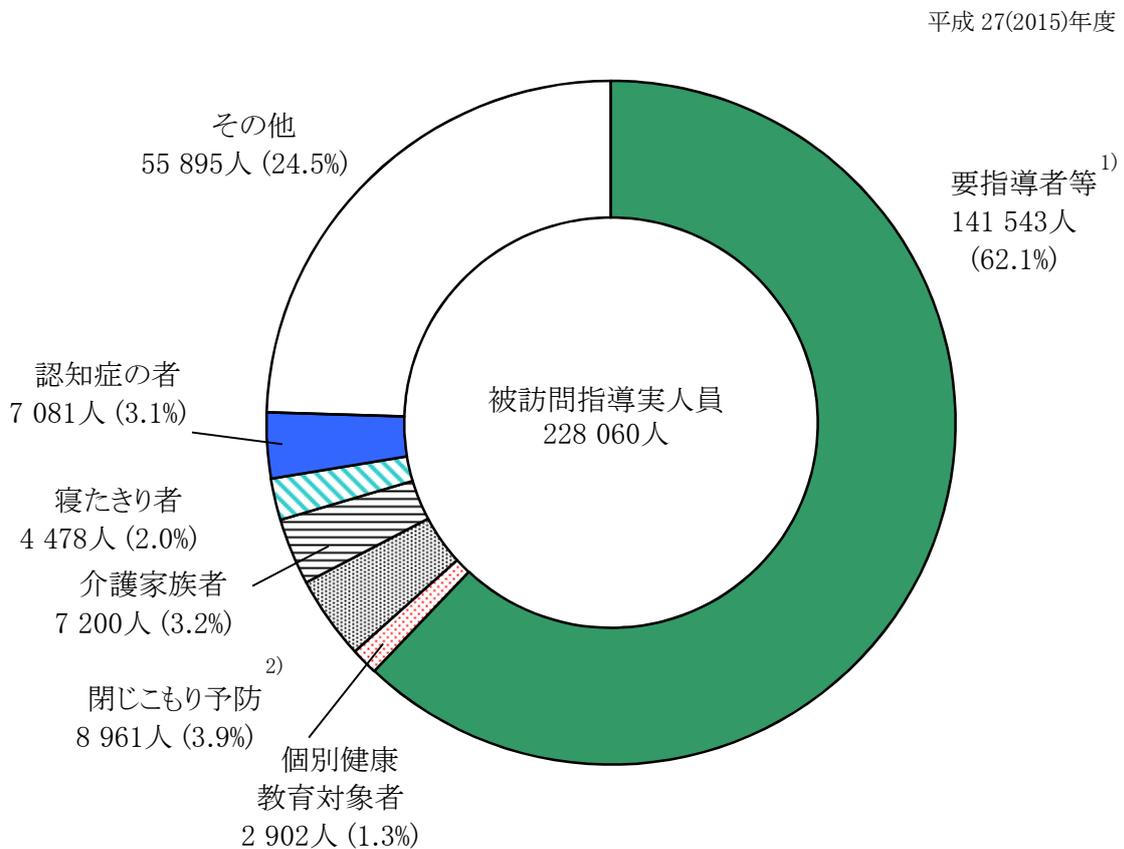
表 7 機能訓練の年次推移

	平成23年度 (2011)	24年度 ('12)	25年度 ('13)	26年度 ('14)	27年度 ('15)
実施施設数 (か所)	369	341	391	297	258
実施回数 (回)	12 582	11 473	10 747	8 544	7 713
被指導実人員 (人)	3 755	3 980	3 859	4 025	3 126
被指導延人員 (人)	54 581	54 094	48 285	44 021	37 148

7 訪問指導

市区町村が実施した訪問指導の被訪問指導実人員は 228,060 人となっており、訪問指導の対象者別にみると、「要指導者等」が 141,543 人（62.1 %）と最も多くなっている（図 2）。

図 2 訪問指導の対象者別にみた被訪問指導実人員



注：1) 「要指導者等」とは、生活習慣病改善のための指導が必要な者をいう。

2) 「閉じこもり予防」とは、介護予防の観点から支援が必要な者で、健康管理上訪問指導が必要と認められた者をいう。

8 がん検診

(1) がん検診の受診者数及び受診率

市区町村が実施したがん検診の受診率は、「胃がん」6.3%、「肺がん」11.2%、「大腸がん」13.8%、「子宮頸がん」23.3%、「乳がん」20.0%となっている(表8)。

表8 がん検診受診者数及び受診率

(単位:人)

平成27(2015)年度

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
受診者数	2 372 716	4 208 687	5 241 847	3 923 636	2 115 752
受診率 ¹⁾ (%)	6.3	11.2	13.8	23.3	20.0

注:「がん対策推進基本計画」(平成24年6月8日閣議決定)に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳(「子宮頸がん」は20歳から69歳)までとした。「受診者数」及び「受診率」については、「IV 用語の解説」26頁参照。

1)受診率は、対象者数等の計数が不詳の市区町村を除いた値である。

(2) がん検診受診率の分布状況

市区町村のがん検診受診率の分布をみると、がん検診受診率が「50%以上」と高い市区町村数は、「子宮頸がん」が169(全国市区町村数に占める割合9.7%)と最も多く、次いで「乳がん」が127(同7.3%)となっている。一方、がん検診受診率が「0~10%未満」と低い市区町村数は、「胃がん」が921(同53.0%)と最も多く、次いで「肺がん」が503(同29.0%)となっている。(表9、図3)

表9 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

平成27(2015)年度

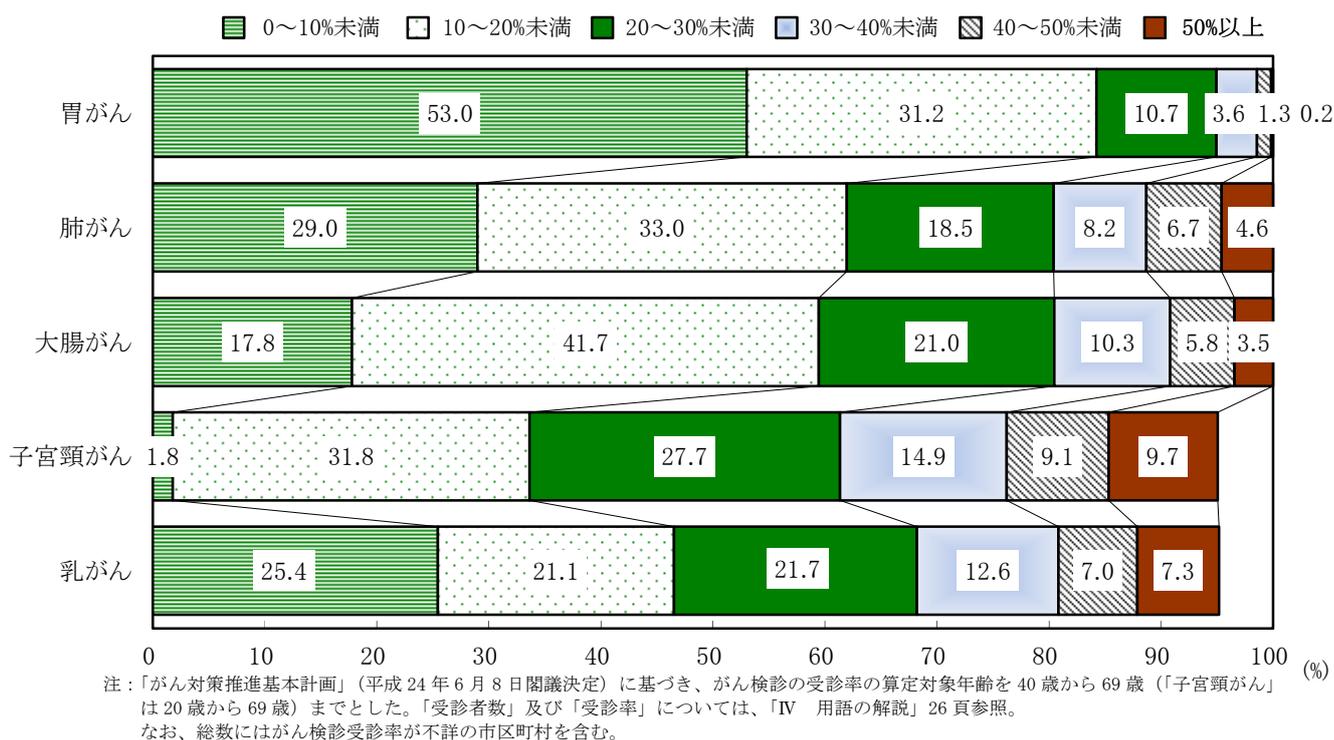
	全国 ¹⁾ 市区町村数	がん検診受診率別市区町村数					
		0~10%未満	10~20%未満	20~30%未満	30~40%未満	40~50%未満	50%以上
胃がん	1 737	921	542	186	63	22	3
肺がん	1 737	503	573	321	143	117	80
大腸がん	1 737	309	724	365	179	100	60
子宮頸がん	1 737	31	553	481	259	158	169
乳がん	1 737	442	366	377	219	122	127

注:「がん対策推進基本計画」(平成24年6月8日閣議決定)に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳(「子宮頸がん」は20歳から69歳)までとした。「受診率」については、「IV 用語の解説」26頁参照。

1)「全国市区町村数」にはがん検診受診率が不詳の市区町村を含む。

図3 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

平成 27(2015)年度



(3) 平成 26 年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況

平成 26 年度に市区町村が実施したがん検診における要精密検査者のうちがんであった者数の、がん検診受診者数に対する割合は、「胃がん」0.10%、「肺がん」0.04%、「大腸がん」0.19%、「子宮頸がん」0.04%、「乳がん」0.34%となっている（表 10）。

表 10 平成 26 年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況¹⁾

(単位:人)

平成 26(2014)年度

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
がん検診受診者数 ¹⁾	2 324 312	4 033 976	4 876 235	4 199 634	2 182 748
要精密検査者数 ¹⁾	175 141	79 030	324 413	96 175	182 909
精密検査受診率 ²⁾ (%)	79.5	79.8	66.9	72.4	85.1
がん検診受診者数に対する割合 (%)	7.54	1.96	6.65	2.29	8.38
がんであった者数 ¹⁾	2 237	1 515	9 237	1 785	7 416
がん検診受診者数に対する割合 (%)	0.10	0.04	0.19	0.04	0.34
要精密検査者数に対する割合 (%)	1.28	1.92	2.85	1.86	4.05
精密検査未受診者数 ¹⁾	15 640	6 789	47 900	7 652	9 034
精密検査未受診率 ²⁾ (%)	8.9	8.6	14.8	8.0	4.9
精密検査未把握者数 ¹⁾	20 273	9 188	59 474	18 858	18 163
精密検査未把握率 ²⁾ (%)	11.6	11.6	18.3	19.6	9.9

注：「がん対策推進基本計画」（平成 24 年 6 月 8 日閣議決定）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を 40 歳から 69 歳（「子宮頸がん」は 20 歳から 69 歳）までとした。

1) がん検診受診者数については平成 26 年度受診者を平成 27 年度報告で改めて把握したものであり、平成 27 年度に精密検査を受診し、結果が判明した者についても含めている。

2) 「精密検査未受診者数」及び「精密検査未把握者数」の計数が不詳の市区町村を除いた値である。「精密検査受診率」、「精密検査未受診率」及び「精密検査未把握率」については、「IV 用語の解説」26、27 頁参照。

9 肝炎ウイルス検診

市区町村が実施した肝炎ウイルス検診の受診者数は、「B型肝炎ウイルス検診」927,565人、「C型肝炎ウイルス検診」926,173人となっている。

B型肝炎ウイルス検診において「陽性」と判定された者は6,473人、C型肝炎ウイルス検診において「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定された者は3,236人となっている。

(表 11)

肝炎ウイルスに関する健康教育の開催回数は1,010回、参加延人員は27,898人、健康相談の開催回数は3,890回、参加延人員は13,020人となっている(表 12)。

表 11 肝炎ウイルス検診の実施状況

(単位:人)

平成 27(2015)年度

	B型肝炎ウイルス検診		C型肝炎ウイルス検診	
	受診者数	「陽性」と判定された者	受診者数	「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定された者
総 数	927 565	6 473	926 173	3 236
40歳	97 858	356	97 971	73
41～44歳	77 245	346	77 245	114
45～49歳	87 832	510	87 885	174
50～54歳	81 422	516	81 433	268
55～59歳	85 635	603	85 527	242
60～64歳	132 881	1 116	132 522	452
65～69歳	177 164	1 566	176 587	560
70～74歳	97 864	891	97 356	426
75～79歳	46 815	326	46 727	346
80歳以上	42 849	243	42 920	581

表 12 肝炎ウイルスに関する健康教育・健康相談の実施状況

平成 27(2015)年度

健 康 教 育		健 康 相 談	
開催回数(回)	参加延人員(人)	開催回数(回)	参加延人員(人)
1 010	27 898	3 890	13 020